

◆集団の中で発表しよう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 <ul style="list-style-type: none">・学習意欲は旺盛で、特に機械操作を好む。・集団の中で意見を発表するのが苦手である。
2 指導目標 <ul style="list-style-type: none">・集団の中で、意欲的に自分の意見を発表することができるようになる。
3 取組の中心となる教科・領域等 <ul style="list-style-type: none">・国語（表現・伝える）
4 使用したアプリ、周辺機器 <ul style="list-style-type: none">・iPadデフォルトカメラ機能（写真、ビデオ）
5 指導の経過及び児童生徒の変容 <ul style="list-style-type: none">・iPadを使って、自分が伝えたいもの、好きなものを撮影し、それをみんなに発表する活動を行った。 <p>指導期間 9/4～12/4</p> <p>第一期（9月初旬） iPadの操作のみに興味がいき、積極的に撮影には取り組むが、それに終始した。写真を撮りたがるが、発表にはなかなか移行させるのが難しかった。発表時、気に入った1, 2点には、一文説明を加えたものの、残りのものはタイトルのみの発表だった。</p> <p>第二期（9月下旬から10月） 撮影には意欲的であった。発表活動に少しずつ慣れてきたようで、撮影したもののタイトルのみならず、説明を加えるようになってきた。</p> <p>（例）5枚写真を撮っていたが、「2, 3枚選んで発表してもいいよ」と声をかけると、「全部発表する！」。5枚とも発表内容を考えたあとも、「まだ発表したい！今から写真を撮る」とやる気も見せていた。 『大型絵本1』「これはへんしんトンネルです」「かっぱかっぱといます」 『大型絵本2』「これはもっきらもっきらです」「怖い話です」 『大型絵本3』「これは月曜日に何食べるです」「枝豆を食べます」 『教室の本棚』「これは教室の本棚です」「ぼくとりょうちゃんとまほちゃんの本です」「昼休みに使います」</p> <p>第三期（11月） 意欲的に撮影したものに対して、説明する内容が具体的にになり発表にもかなり慣れてきた。 （例）大変意欲的に自分でiPadを操作しながら発表した。発表する前も、今からiPadで撮ってもう少し発表したいと言っていたので、次も撮ろうと伝えた。 『ミキサー』「これはミキサーです。紙をちぎって紙すきを入れるものです。お水を入れてウィーンをします。」 『電卓』「これは電卓です。数学の時に電卓で買い物を使います。」 『CDボックス』「これはCDボックスです。お昼休み、ぼくがCDを聴くものです。」</p> <p>※この活動を継続して行うことによって、1学期ではほとんど見られることのなかった、終わりの会での発表が9月下旬くらいから、徐々に増えてきた。10月に入ってから、ほぼ毎日手をあげて、発表できるようになってきた。</p>
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） <ul style="list-style-type: none">・自分が撮影したいという思いのあるものを自由に撮らせた。・撮影をしたものに対して、発表の内容を考える時間を設けた。その際、前回よりもう一言みんなに話す内容が多くなるとよいとアドバイスをした。